学校番号	414

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校古典探究」　（数研出版株式会社）						
副教材等	「新しい古典の学習２in１スタイル　学ぶぞ　古文と漢文」（尚文出版株式会社） 「学ぶぞ　古文と漢文　基本練習ノート」（尚文出版株式会社） 「練成古典」（尚文出版株式会社） 「新版　理解を深める　核心古文単語 351」（尚文出版株式会社） 「徹底演習　新しい共通テスト国語対策問題集　［現代文＋古典］35」（株式会社桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの高校の古典の学習では、基礎となる古語・古典文法に関する知識の獲得や、それを用いた古典の文章読解に努めてきた。本科目では、それらを応用し、発展的に読解を進めることで、より一層古典世界の理解を深めていく。具体的には、受講生各位にはある程度の文量のある古文・漢文を読み、既習事項の定着・活用を図りつつ、新たな知識やそれらを応用した読解の手法を身につけてもらう。高等教育への円滑な接続を見据え、古典世界の解像度を上げるための積極的な学習参加を期待する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	物語 ［教材］ 『源氏物語』「車争ひ」 (p.198～p.201)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：粘り強く引き歌の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	物語 ［教材］ 『源氏物語』「紫の上の死」 (p.218～p.221)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	物語 ［教材］ 『源氏物語』「浮舟」 (p.222～p.226)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
二学期	思想 ［教材］ 『孟子』「不忍人之心」 (p.338～p.339)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：孟子が主張する「四端」と仁・義・礼・智の関係について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	思想 ［教材］ 『孟子』「性善」 (p.340～p.341) 『荀子』「性悪」 (p.342～p.343)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：孟子と荀子の思想に見られる類似点と相違点を粘り強く考察し、主体的に文章に表そうとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	日記文学 ［教材］ 『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」 (p.178～p.180)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	発言の内容の確認 定期考査	行動の確認 と観察
	日記文学 ［教材］ 『和泉式部日記』「薫る香に」 (p.190～p.193)	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察

	日記文学 ［教材］ 『建礼門院右京大夫集』 「なべて世の」 (p.144～p.145)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:平資盛の逸話について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	記述の確認 定期考査 小テスト	記述の確認 定期考査	行動の確認 と観察
三学期	近世小説 ［教材］ 『雨月物語』「浅茅が宿」 (p.286～p.290)	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	記述の確認 小テスト	記述の確認	行動の確認 と観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間